

<b>授業科目名</b>	在宅看護学実習(2300410)		
<b>時間割名</b>	在宅看護学実習(70224)		
<b>時間割担当</b>	佐藤郁代		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

疾患や障害を持ちながら在宅で生活する療養者とその家族の健康問題や生活課題を総合的アセスメントし、対象者の個性をいかした在宅看護の展開ができるようになる。在宅療養者とその家族の体験から家族介護の意味を理解し、在宅ケアの向上を図るための実践を行う。地域における在宅看護や訪問看護に関わる法律、制度、関係機関、関係職種との連携についてその実際を理解し、在宅ケアシステムとそのチームの一員として看護の専門性や役割について考えることができる。

### 学習の到達目標

- 1.在宅療養者とその家族の生活および療養環境について説明できる。
- 2.在宅療養者とその家族の健康問題および生活課題について説明できる。
- 3.在宅療養者とその家族のQOL向上に向けた援助が実施できる。
- 4.在宅ケアシステムの一員としての看護の役割について、自己の考えを述べるができる。
- 5.在宅看護の実践を通し、自己の看護観を述べるができる。

### 授業方法・形式

実習

訪問看護ステーションにおいて、在宅看護過程を展開する。

### 授業計画

- 1～9日目：訪問看護ステーションにおいて、訪問看護師に同行し、看護実践に参加する。
- 10日目（学内）：受け持ち在宅療養者の事例発表。記録のまとめ。

### 成績評価の基準

実習目標の達成度を実習記録および課題レポートで評価する（80％）

実習およびカンファレンス・事例発表への取り組みを評価する（20％）

### 準備学習・復習及び授業時間外の課題

- 1.在宅療養者の日常生活援助技術および医療的ケアの方法について復習する。
- 2.訪問看護ステーションの機能と役割、訪問看護、介護保険と医療保険、障害者総合支援法などについて復習する。
- 3.在宅看護過程の展開方法について復習する。
- 4.わからないことはそのままにせず、自己で調べ、また、実習指導者および担当教員に相談する。

### 履修上のアドバイス及び留意点

訪問看護ステーションでの実習は、療養者宅に訪問することになります。見知らぬ家族や家庭環境にはじめて足を踏み入れ適応していくとともに、療養者とその家族へ提供される訪問看護の実際を学ぶ機会を最大限に生かすように、事前時十分な準備を行ってください。また、療養者とその家族が期待を込めて初対面の学生を自宅に迎え入れることを理解したうえで、実習に協力する療養者とその家族に真摯な姿勢が伝わるような態度と振る舞いを心配りしましょう。

### 教材・教科書

なし

### 参考書

なし